

令和4年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科:(地理歴史)科目:(世界史A) 対象:(第2学年1組～5組)

科目担当者:1～5組 小宮山・佐藤・鈴木

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界史に関する歴史的事象および出来事について、基本的事項を理解することができる。 世界の歴史の展開を大局的に理解することができる。
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>1 地理・歴史・公民の各分野について、中学校までに身に付けるべき基礎的・基本的な知識や概念の習得が不十分な生徒が多い。</p> <p>2 本格的な世界史の学習が初めてのため、様々な国々の歴史について知識が不足している生徒が多い。</p>	<p>1 授業内で取り扱う歴史的事象や項目の精選化・焦点化を図り、必要最低限の基礎的・基本的な知識の習得を目指す。</p> <p>2 1の過程で世界地図や国際的なトピックに関する新聞記事やニュース等に多く触れられるような指導の工夫を行い、生徒の興味・関心を維持しつつ、世界史の学習を通して広く社会で役立つ一般教養としての知識を習得できるよう根気強く指導を行う。</p>	<p>1 詳細な事項には立ち入らず、その時代や地域を代表する歴史的事象や歴史上の人物に学習テーマを絞り、それを中心とした授業を展開するよう心掛ける。</p> <p>2 授業に関連するVTR資料等の活用を積極的に図り、生徒の興味・関心を高め、それを維持する手立てを様々な角度から講じる。また、基礎的・基本的な知識を反復して学習することができるよう、授業プリントの構成等を工夫する。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			